

No.	審議会	ページ	意見	対応案
40	第3回	P81	<p>基本理念の修正案「安全で信頼されるねやがわ水道」について、「持続」のニュアンスが足りないため、「安全で信頼され続ける」「持続的に安全で信頼される」とするなどしたほうがよい。</p> <p>【※第1回審議会における意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念「安全で信頼される水道の実現」について、既に実現していると思われるこの状態を目指すのか。例えば、時代に即した「災害に強い」というニュアンスや「強靭」などの言葉がある方がよいのではないか。理念の冒頭に「強靭・」と付ける、「実現」を「持続」に変えるなどしてはどうかと考える。 ・基本理念「安全で信頼される水道の実現」について、分かりやすくてよいと思う。 ・基本理念「安全で信頼される水道の実現」について、例えば、「安全で信頼されるねやがわの水道の実現」などでもよいのではないか。 	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり提案します。</p> <p>【原案】 安全で信頼される水道の実現</p> <p>【修正案】 安全で信頼されるねやがわ水道</p> <p>【再修正案】 案① 安全と信頼で創る、つなげる ねやがわ水道 案② 持続する 安全で信頼されるねやがわ水道 案③ 次世代へつなげる 安全で信頼されるねやがわ水道</p>
41	第3回	P82 P83	基本施策、基本計画の番号の振り方について、公文書規程に沿った方がよい。	計画体系については、分かりやすさを重視し、全ての基本施策、基本計画を通し番号とする意図としています。
42	第3回	P83	基本計画として、①から⑯まで列挙されているが、それぞれ、具体施策の記載ページを付した方がよい。	ご意見のとおり修正します。
43	第3回	P83	各基本計画の記載の仕方がP84以降と異なっているので統一すべきである。（「①経年施設・・・」と「① 経年施設・・・」など、番号の後の空白の有無）	ご意見を踏まえ、番号の後に空白を入れ、P84以降と統一します。
44	第3回	P83	基本計画 「④ 災害時における危機管理体制の整備、強化」について、単に「災害」だけであると自然災害のイメージとなるので、自然災害以外の災害も含むことを表すため、「事故別」という文言を加えた方がよい。	ご意見を踏まえ、「④ 災害等危機管理体制の整備、強化」に改めます。
45	第3回	P84～	各基本施策名（四角囲み）について、P82の記載方法（背景を色付き、白抜き文字）に合わせる方がよい。	ご意見のとおり修正します。
46	第3回	P84～	各基本計画の下位の取組内容の文頭の「○」を「・」にした方がよい。	ご意見のとおり修正します。
47	第3回	P84 ほか	ウォーターPPP、AI、RPAなどの略語について、用語解説とは別に何の略なのかを文中に入れた方がよい。	ご意見のとおり修正します。

No.	審議会	ページ	意見	対応案
48	第3回	P85	鉛管の安全性について、触れておいた方がよい。	<p>ご意見を踏まえ、基本施策(1) 安定給水の確保 ②水道施設・管路の計画的な維持管理 の5点目を次のとおり修正します。</p> <p>【修正前】 ○ 鉛製給水管について、配水管布設替時に水道用ポリエチレン二層管等への切り替えを実施するとともに、鉛製給水管に関する情報について、市ホームページ等で提供します。</p>
49	第3回	P85	3行目の「水道用ポリエチレン二層管」について、前ページのダグタイル鋳鉄管や水道配水用ポリエチレン管のように、管を形容する文言を加えた方がよい。	<p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉛製給水管について、<u>水が長時間滞留した場合等には鉛濃度が水質基準を超過するおそれがあるものの、通常の使用状態においては問題はない</u>とされています。一方、老朽化による漏水の可能性が高いことから、配水管布設替時に耐久性・柔軟性を有し地形等に合わせた布設が可能な水道用ポリエチレン二層管等への切替えを実施するとともに、鉛製給水管に関する情報について、市ホームページ等で提供します。
50	第3回	P85	基本施策(1) 安定給水の確保 ① 経年施設・経年管路の計画的な更新、耐震化の3点目「管路の耐震化について、・・・」の文中の「新たな技術・工法の積極的な採用により」などについて、抽象的であるため、具体的に記載すべきではないか。	<p>本ビジョンは10年間の計画であり、現在はない新たな技術・工法等により費用削減につながるものは常に導入可能性を検討していくべきであることから、原案のとおりとします。</p>
51	第3回	P85	④ 災害時における危機管理体制の整備、強化について、震災に重きが置かれる傾向があるが、感染症についても重要であるため、災害対策マニュアルについても踏まえるべきである。	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>【修正前】 ○ 震災、施設停電事故、テロ等を想定した<u>事故別災害対策マニュアル</u>を隨時更新します。</p> <p>【修正後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災、施設停電事故、テロ、<u>感染症</u>等を想定した<u>災害対策マニュアル</u>を隨時更新します。
52	第3回	P86	⑤ 上下水道一体での災害対策について、文中「上下水道システム」の意味が分からぬ。	<p>「上下水道システム」とは、災害時において上下水道機能の確保がとりわけ必要な重要施設に接続する上下水道管路の耐震化を一体的に行うなど、水道と下水道の両方の機能を確保するための一体的な仕組みのことをいいます。附属資料の用語解説のページに意味を記載します。</p>

No.	審議会	ページ	意見	対応案
53	第3回	P86	⑥ BCP（事業継続計画）の推進について、BCPの内容について具体的に記載した方がよい。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 災害時に迅速な応急給水、応急復旧ができるよう、事業継続計画（BCP）を定期的に見直し、実効性を高めます。
54	第3回	P86	⑥ BCP（事業継続計画）の推進について、震災に重きが置かれる傾向があるが、感染症についても重要であるため、踏まえるべきである。	 【修正後】 地震災害を始めとする様々な危機事象に対し、人材や資機材など限られた資源を用いて水道システムを維持又は早期回復するため、BCP（事業継続計画）を継続的・定期的に見直し、実効性を高めます。
55	第3回	P87	⑦ 水質検査体制の維持の1点目「水質基準」とあるが、「国の水質基準」とした方がよい。	ご意見を踏まえ、「水道法に基づく水質基準」に修正します。
56	第3回	P87	基本施策「(3) 水質管理体制の維持」の基本計画として、鉛管に関する取組を加えた方がよい。	鉛製給水管は水が長時間滞留した場合等には鉛濃度が水質基準を超過するおそれがあるものの、通常の使用状態においては安全性に問題ないとされています。一方、老朽化による漏水の可能性は他の管種より高いことから、漏水防止対策として鉛製給水管の布設替えに取り組むため、原案のとおりとします。 また、鉛製給水管に関する取組は、基本施策① 安定給水の確保 ② 水道施設・管路の計画的な維持管理 の5点目の取組として記載しています。
57	第3回	P87	基本施策「(4) 水質情報提供の充実」の下位に基本計画「⑧的確な水質情報の提供」とあるが、基本施策で「充実」としている一方で、この基本計画名称は適切か。「水質検査結果等の効果的な情報発信」などとしてはどうか。	ご意見のとおり、基本計画名称を「水質検査結果等の効果的な情報発信」に改めます。
58	第3回	P87	⑧ 的確な水質情報提供の充実の文中、「水道法及び同施行規則」とあるが、「水道法及び同法施行規則」が正しいのではないか。	ご意見を踏まえ、「水道法及び水道法施行規則」に修正します。
59	第3回	P88 P89	「ウォーターPPP」「RPA」「アセットマネジメント」「タイプ4D」「DX」「IoT」の意味が分からぬ。	ご意見を踏まえ、⑫ アセットマネジメントの活用を次のとおり修正とともに、分かりにくい用語について、附属資料の用語解説のページに意味を記載します。 【修正前】 アセットマネジメントを定期的に見直すとともに、タイプ4D（詳細型）の導入に向けた検討を行います。 【修正後】 中長期的財政収支に基づき、効率的かつ効果的な水道施設の更新等を計画的に実行するため、アセットマネジメントを定期的に見直すとともに、その検討手法について、施設の再構築や規模の適正化、適切な水道料金水準等資金確保策の反映に向けた検討を行います。

No.	審議会	ページ	意見	対応案
60	第3回	P88 P89	基本施策(5) 財政の健全化と業務の効率化 の文中、「アウトソーシング等」「A I やR P A等情報通信技術」「A I、I o T等、業務の効率化や利用者サービスの向上に資する先端技術」とあるが、抽象的であるため、具体的に示すべきではないか。	本ビジョンは10年間の計画であり、現在はない新たなデジタル技術等により業務効率化等につながるものは常に導入可能性を検討していくべきであることから、原案のとおりとします。
61	第3回	P89	⑪ 水道料金制度の検討 の内容が貧弱であり、検討を行う理由や適切な時期に見直す等の記述を加えるべきである。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 安定した事業経営を継続し、利用者サービスの向上を図るため、水道料金制度について検討を行います。 【修正後】 <u>独立採算制の原則のもと、安定した事業経営を継続し、利用者サービスの向上を図るため、将来的の更新需要等を考慮した長期的視点や客観性・公平性を踏まえ、必要に応じて検討を行います。</u>
62	第3回	P89	用語解説に「大阪広域水道企業団」も含めた方がよい。	ご意見のとおりとします。
63	第3回	P89	⑬ D X等先端技術の採用 の文中「先行事例」とあるが、「先進事例」の方がよいのではないか。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 <u>A I、I o T等、業務の効率化や利用者サービスの向上に資する先端技術について、先行事例の研究を行うなど、活用の可能性を検討します。</u> 【修正後】 <u>A I、I o T等、業務の効率化や利用者サービスの向上に資する先端技術について、活用を検討します。</u>
64	第3回	P90	⑯広報・広聴活動の推進 について、「市広報誌、ホームページ等での啓発」とあるが、市民がどれだけ見ているのか。「利用者の意見やニーズの把握」とあるが、環境フェアにおける現在の取組について記載した方がよい。	ご意見を踏まえ、1点目、3点目を次のとおり修正します。 【修正前】 ○ 利用者が必要とする情報を、よりタイムリーに提供できるよう、市広報誌や市ホームページの活用方法を検討し、充実に努めます。 ○ 利用者に満足いただける水道サービスを提供できるよう、利用者の意見やニーズの把握に努めます。 【修正後】 ・ 利用者が必要とする情報を、よりタイムリーに提供できるよう、市広報誌や市ホームページを始めとするあらゆる媒体の効果的な活用について検討し、情報発信の充実に努めます。 ・ <u>満足度の高い水道サービスを提供できるよう、利用者アンケートなどによる意見やニーズの把握に努めます。</u>

No.	審議会	ページ	意見	対応案
65	第3回	P91	給水栓水質検査（毎日）箇所密度に関し、水質検査の箇所を記載すべきである。	水質検査箇所（6か所）については、第3章第3節の図3-5で示します。
66	第3回	P92	第7章が1ページだけというのはいかがか。P D C Aサイクルの図について、「計画（P l a n）」として「ビジョンの策定」とあり、「評価（C h e c k）」として「事後評価の実施、顧客満足度の把握」とあるが、10年で1周するのか。「事後評価」の評価項目は何か。「顧客満足度」とは何か。どのように進捗管理していくのか。	基本計画ごとの取組内容及び指標の実績値を毎年度把握する中で進捗管理を行う予定です。なお、P D C Aサイクルは1年周期を想定しており、P D C Aサイクルの図の「計画（P l a n）」を「事業の計画」に、「評価（C h e c k）」を「進捗状況の把握、事後評価の実施」に修正します。 併せて、計画体系の名称を、「基本方針・目標 — 基本施策 — <u>基本計画</u> 」から「基本方針・目標 — 基本施策 — <u>取組</u> 」に改めます。
67	第3回	P92	推進体制について、「P D C Aサイクルに基づき、」とあるが、P D C Aを回すのは時間がかかると言わわれている。計画の実効性を確保するためには、スピード感が重要である。「スピード感をもって」などの文言を加えた方がよいのではないか。	また、進捗管理や評価の考え方について文中に追記するとともに、次のとおり修正します。 【修正前】 基本理念の実現に向け、3つの基本方針・目標に沿った施策・事業を推進し、その実効性を確保するため、P D C Aサイクルに基づき、継続的に進捗管理を行います。 また、計画期間が10年間と長期にわたることから、本市水道事業を取り巻く社会情勢の変化や達成状況などを踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととします。
68	第3回	P92	進捗管理や評価の考え方について、現ビジョン第7章図7.1のような図があると分かりやすいのではないか。	【修正後】 基本理念の実現に向け、3つの基本方針・目標に沿った施策・事業をスピード感をもって推進し、その実効性を確保するため、P D C Aサイクルに基づき、 <u>年度ごとに行う個別事業の計画</u> について、事業実施、事後評価を行い、毎年度、継続的に進捗管理を行います。 また、計画期間が10年間と長期にわたることから、本市水道事業を取り巻く社会情勢の変化や達成状況などを踏まえ、必要に応じて見直しを行うこととします。